

日本李登輝友の会の皆様へ

日本李登輝友の会の皆様、台湾の李登輝です。

このたびは小田村四郎会長からのお招きにもかかわらず、体調が整わず、皆様とお会いできなくなつたことをとても残念に思っています。皆様もさぞかし落胆されたのではないかと思ひ、お詫びの言葉もありません。今後は体調を整え、次の機会に備えたいと思ひます。

私は、祖国であり母国の台湾の行末が気に掛かり、案じられてなりません。しかし、日本で安倍晋三さんが総理大臣に就任されてからは、台湾を基本的価値観を共有する重要なパートナーと位置づけられました。私の悲願でもあつた台日漁業協定の締結に象徴されるように、台日関係はよりいっそう深くなっています。

台湾と日本は運命共同体です。台湾なくして日本なく、日本なくして台湾は存立し得ない関係です。

その点で、日本李登輝友の会の本年度の政策提言「日台関係基本法の制定」は大変重要な提言であり、一刻も早く制定されることを待ち望んでおります。

本日講演される李雪峰先生は、台湾少年工の時代

として訪日することになり、五年ぶりの訪日を私自身大変楽しみにしていました。しかし、急に体調を崩して出席できなくなり、皆様にご迷惑とご心配をお掛けしてしまいました。誠に相済みません。

心電図やCTスキャン、超音波などで検査し万全を期したつもりでしたが、服用している薬の副作用で低血圧症を発してしまいました。しかし、症状は徐々に収まりつつありますのでご安心ください。ご心配いただいた多くの方にこの場をお借りし深く御礼申し上げます。

私は現在、日本李登輝友の会のカウンターパートである李登輝民主協会の理事長の立場にあります。日本李登輝友の会は民間ながら、台湾の大使館以上の役割を果たしてくれているといつも感心させられます。また、設立当初から台湾正名運動に取り組



蔡焜燦理事長



李登輝元総統

からリーダーの資質を発揮し、台湾高座会の会長を長年つとめる、私もよく存じ上げている方です。昭和天皇の「ふりつもるみ雪にたへていろかへぬ松ぞををしき人もかくあれ」という御製の精神を、見事にその人生で体現されている方でもあります。

本日の李雪峰先生による講演会のご盛会と日本李登輝友の会ますますのご繁栄、そして会員の皆様の御健勝を台湾からお祈り致します。

二〇一三年五月十日

台湾元総統 李 登輝

ご参加の皆様へ

このたびは李登輝元総統からのお声掛かりで名代

み、外登証問題を解決して台湾出身者の国籍を中国から台湾に改正し、教科書執筆者も参照する資料の新高山の標高を訂正させるなど、その活躍は目を見張るばかりです。そして昨年から「政策提言」を政府に提出し始め、今後ますます日本における日本李登輝友の会の重要性が増してきているよう頼もしい限りです。

このたび、ピンチヒッターで講演いただく李雪峰さんは、一九八八年に台湾高座会発足と同時に会長となり、今も会長を務めています。その一方で、李登輝民主協会発足のときから常務理事をつとめています。私より一つ年上ですので、普段は親しみを込め「叔父さん」と呼んでいます。その毅然とした姿勢に敬服し、心から信頼する方です。

今般は皆様と親しくお話しする機会を逸してしまいました。台湾においてになりましたら歓迎いたしますので、ぜひお声を掛けてください。

講演会のご盛会と皆様のご多幸を遥か台湾よりお祈りしています。

二〇一三年五月十日

李登輝民主協合理事長 蔡 焜燦